



2019年12月20日

各 位

会社名 シリコンスタジオ株式会社
代表者名 代表取締役社長 梶谷 眞一郎
(コード：3907、東証マザーズ)
問合せ先 社長室長 佐々木 雄一
(TEL. 03-5488-7070)

プロジェクト損失（営業損失）の計上および連結業績予想修正に関するお知らせ

当社は、下記のとおりプロジェクト損失を営業損失として計上するとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年1月15日付で開示いたしました2019年11月期（2018年12月1日～2019年11月30日）の業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. プロジェクト損失（営業損失）の内容

当社は、2017年初頭より開発を開始したツール開発プロジェクト案件において、過去に経験のない新規性の高いテーマであったことから開発が難航し不採算化しておりました。この度、お客様とプロジェクト終結について最終合意に至ったことから、その損失額50百万円を営業損失として計上することとなりました。

なお、当社は2019年度より不採算案件抑制に向けて取り組んでおり、現時点において不採算プロジェクト案件はございません。

2. 2019年11月期 連結業績予想数値の修正（2018年12月1日～2019年11月30日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 4,924	百万円 121	百万円 115	百万円 114	円 銭 39.72
今回修正予想（B）	4,608	45	60	68	23.64
増減額（B-A）	△316	△76	△55	△46	-
増減率（%）	△6.4	△62.8	△47.8	△40.3	-
（参考）前期連結業績 （2018年11月期）	5,002	△771	△804	△715	△264.47

3. 修正の理由

（1）売上高の修正について

①開発推進・支援事業

受託開発においては、注力分野である自動車業界向けの売上は、前年度対比では増加する見通しですが、受注が後ろ倒しになった影響等により期初計画には届きませんでした。

ミドルウェアライセンス販売においては、第4四半期中に契約締結を見込んでいた海外ゲームデベロッパー向け案件にて先方のプロジェクト中止が急遽決定したことにより契約が取り止めとなってしまうこと、および別の案件にて契約締結までに時間を要し、期ズレが発生してしまったこと等が影響し期初計画には届きませんでした。なお、前述の期ズレ案件につきましては、現在は契約締結が完了し2020年11月期第1四半期に売上計上を予定しております。

以上の結果、開発推進・支援事業の売上高は期初計画より244百万円減少し2,643百万円と予想しております。

②人材事業

人材派遣、職業紹介共に、平均単価は期初計画を上回りましたが、人数ベースでは期初計画に届かなかったことが影響し、人材事業の売上高は期初計画より195百万円減少し1,842百万円と予想しております。

③その他

期初計画には見込んでおりませんでした。前年度より継続している他社との協業コンテンツタイトルの売上高として122百万円と予想しております。

以上の結果、連結売上高は期初計画より316百万円減少し4,608百万円と予想しております。

(2) 営業利益の修正について

売上高の修正、およびプロジェクト損失の計上に伴い、開発推進・支援事業のセグメント利益は期初計画より120百万円減少し133百万円、人材事業のセグメント利益は期初計画より11百万円減少し376百万円、その他の利益は9百万円と予想しております。

全社費用につきましては、経費節減に努めた結果、期初計画より48百万円減少し471百万円と予想しております。

以上の結果、連結営業利益は期初計画より76百万円減少し、45百万円と予想しております。

(3) 経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の修正について

営業利益の修正、および持分法投資利益として20百万円を計上等に伴い、連結経常利益は60百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は68百万円と予想しております。

※ 上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であります。従いまして、実際の業績は様々な要因により、異なることがありますことをご承知おきください。

以上